取扱説明書

ご使用のまえに

末永くご愛用いただくために、本保証書及び付属の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用くださいますようお願いいたします。

(1)防水性について

当社製品の防水性は右記の表で示す区分になっています。ご購入の時計をご確認のうえ、表をご参考に正しくご使用ください。

非防水時計については、一時的にかかる水滴(洗顔時の水はね、雨など)や汗などにご注意ください。万一、水や汗でぬれた場合は、乾いた柔らかい布で水分を十分拭き取ってください。

・洗車時、シャワー、蛇口から出る勢いのある水などは規定防水を超える場合がありますので、水圧が時計に当たらないようご注意ください。
・時計内部には、水の浸水を防ぐためのパッキンがあります。パッキンは消耗品で、ご使用期間により年々劣化（硬化）し、防水性能が低下していきます。電池交換の際に同時にパッキンも交換していただくことをおすすめいたします。
・外気と時計内の温度差により、結露（くもり）が生じることがあります。くもりが一時的な場合は問題ないですが、長時間消えない場合は、内部に浸水した可能性がございますので、お早めにお近くの時計販売店にご相談ください。
・水中でのプッシュボタンの操作、リュウズの操作はしないでください。そこから浸水し故障の原因となります。
・いかなる防水時計でもお風呂、温泉等に入浴の際には、必ず時計を外してください。特に温泉成分はパッキンを劣化させたり、化学反応により金属部分の腐食・変色の原因になることがありますのでご注意ください。

＊ネジロック式リュウズについて
防水性を高めるために、ネジロックがかかっている時計があります。ネジを締めた状態で無理にリュウズを引き上げますと、爪が割れるなどケガをする恐れがありますので絶対におやめください。リュウズ操作をした後は、必ずネジを締めてください。緩んだままにしておくと、そこから水が入り防水不良の原因となります。

タイプ ＼ 使用条件		汗、小雨等でもケース内に浸水しますのでお取扱には十分注意が必要です。	水中でのご使用は不可能です。汗、小雨、水しぶき等に耐えうる程度の防水性です。	水中でのご使用は不可能です。家庭内の水仕事に耐えうる程度の防水性です。	水中でのご使用は可能ですが、水圧のかかるようなご使用は不可能です。	水中でのご使用は可能です。プール等のご使用は可能ですが、素潜り、ダイビング等にはご使用になられません。
非防水	ケースの裏蓋にWATER RESISTANTの表示のない時計	×	×	×	×	×
日常生活防水	WATER RESISTANTの表示とともに裏蓋または文字盤に3BAR表示のある時計	○	×	×	×	×
日常生活強化防水 I	WATER RESISTANTの表示とともに裏蓋または文字盤に5BAR表示のある時計	○	○	×	×	×
日常生活強化防水 II	WATER RESISTANTの表示とともに裏蓋または文字盤に10BAR表示のある時計	○	○	○	×	×
日常生活強化防水 III	WATER RESISTANTの表示とともに裏蓋または文字盤に20BAR表示のある時計	○	○	○	○	○

(2)海水に浸かったときのお手入れ

・時計本体に海水が付いた場合はよく洗い落とし、サビが出ないようにしてください。（ステンレスでも汗、海水などの水分をそのままにしておきますとサビが発生することがあります。）また、皮革バンドの時計はバンドに水がかからないようご注意ください。非防水時計はケースに付いた水分をよく拭き取るとともに、時計内部に海水が入っていないかお買い上げのお店で確認を受けてください。海水が入ると故障などの原因になります。

(3)温度について

・直射日光や高温になるようなところに長時間放置しないでください。
・寒いところに長時間放置しないでください。
・常温（5℃～３５℃）から大きくはずれた温度下では、機能が低下したり、停止したりする場合があります。
・常温（5℃～３５℃）から大きくはずれた温度下で長時間放置しますと、故障の原因となったり電池の寿命を早めますのでご注意ください。また、多少の進み遅れが生ずることがありますが、腕に着けていれば元の精度に戻ります。

(4)ショックについて

・スポーツをする際は必ず腕から外してください。身に着けたままスポーツをされると、衝撃でガラスが割れたり、針や文字盤のインデックスの脱落、時間の遅れ・止まりなど故障の原因となります。ご自身や第三者へのケガや事故防止のため十分ご注意ください。
・床面に落としたり、ぶつけたりして激しい衝撃を与えないようにしてください。衝撃でガラスが割れたり、時間が止まるなどケガや故障の原因となります。

(5)磁気について

・家庭用電気製品や、携帯電話などと長時間一緒に置いておくと、磁気の影響を受け時計の部品が磁化されることがあります。部品が磁化すると一時的に時間が進んだり遅れたりすることがございます。このような場合は磁気を発

生するものから５センチ以上遠ざけ時刻修正してください。時刻修正しても時間がくるう場合は、脱磁（磁気を消す作業）を行うと元の状態に直すことができますので、お買上げ店にご相談ください。

＊強い磁気を発生する製品
携帯電話（スピーカー部）・オーディオスピーカー・家具などのマグネット・バッグの留金のマグネット・磁石・磁石付き健康機器（肩こり治療器・磁気ネックレス・磁気ブレスレット）・電気式麻雀台など

・時計にANTIMAG I.またはANTIMAG II.と表示してあるものは、磁気に対する耐久性を強化しています。この規格を超える強い磁気を発生する機器などに密着または近づけることはおやめください。

(6)振動について

・オートバイ・削岩機・チェーンソーなど強い振動が加えられた場合、針や文字盤のインデックスの脱落、一時的に時間が遅れることがあります。

(7)化学薬品・ガスなどについて

・ガス・水銀・化学薬品（シンナー・ガソリン・各種溶剤またはそれらを含むクリーナー・接着剤・塗料・薬品・香水・化粧品類）に触れると、ケース・バンド・文字盤が変色したり、樹脂部の変色・変形・破損をまねくおそれがあります。

(8)安定した精度でご使用いただくために

・クオーツ時計は常温（5℃～３５℃）で腕に着けたとき、安定した精度が得られるよう調整してあります。腕から外しておくと多少の進み遅れが生じることがあります。

(9)金属加工について

・金属部品の加工特性上、バリ等が発生することがございますので十分に注意してご使用ください。

【皮革・金属・プラスチックによるアレルギーについて】

体質により皮革・金属・軟質及び硬質プラスチックで皮膚がかぶれたり、肌に異常がでる場合があります。そのようなときは、直ちに使用を中止し専門医にご相談ください。

【日常のお手入れ】

・ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくと、サビや腐食で衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因となることがありますので、常に清潔にしてご使用ください。

【ケース】
汚れを乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。薬品などは変形・変色・破裂などの原因となりますので絶対にご使用にならないでください。

【金属バンド】
石鹸水をつけた柔らかい歯ブラシなどで部分洗いしてください。このとき水がケースにかからないようご注意ください。洗ったあとは乾いた柔らかい布で水分と十分拭き取ってください。
汚れたままにしておきますと、サビ・腐食の原因となります。汚れがひどいときはお買上げ店などで超音波洗浄してください。

【皮革バンド】
乾いた柔らかい布で水分や汚れを吸い取るように軽く拭いてください。強くこすったりすると色が落ちたり、ツヤがなくなったりすることがあります。
皮革バンドは素材の性質上色落ちする場合があります。特に水や汗などで濡れると色落ちしやすくなります。衣類・持ち物・肌などの汚れの原因となりますので、直ちに拭き取ってください。

【ウレタン・プラスチックバンド】
ウレタン・プラスチックバンドは特にお手入れの必要はありませんが、汚れがひどいときは皮膚のかぶれの原因になることがありますので、石鹸水または水で洗浄してください。薬品などは変色・変形・破損の原因になりますのでご使用にならないでください。素材の性質上、経年劣化による硬化・変色・破損する場合があります。このようなときは新しいバンドと交換してください。
【セラミック】
セラミックは硬度の高い素材なのでキズがつきにくく、変色や腐食の心配がありません。しかも比重がステンレスの約半分と軽さも備えております。その反面衝撃には脆い素材で、落下や何かにぶつけた衝撃で割れてしまうことがありますので、お取り扱いには十分注意してご使用ください。

＊ケースおよびバンドに水銀（体温計など）・薬品が付着すると変形・変色する場合があります。
＊回転ベゼル・リュウズ・プッシュボタンなどは、汚れが付着したままにしておくと機能の妨げとなりますので、こまめに取り除いてください。

【かぶれやアレルギーについて】

・バンドは指一本が入る程度の余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。
・かぶれやすい体質の方や体調によっては、皮膚に異常がでる場合があります。このようなときは直ちに使用を中止し、専門医にご相談ください。
・腐食・汚れ・汗などが、皮膚の異常を引き起こす原因となる場合がありますので、時計は清潔にしてご使用ください。万一皮膚などに異常が生じた場合は、直ちに使用を中止し、専門医にご相談ください。

【保管について】

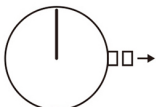
・常温（5℃～３５℃）から大きくはずれた温度下では、機能が低下したり、停止したりする場合があります。
・磁気や静電気の影響があるところに放置しないでください。
・極端にホコリの多いところに放置しないでください。
・強い振動のあるところに放置しないでください。
・薬品に触れるところに放置しないでください。
・ライターのガスや防虫剤の入った引出しなど特殊なところに放置しないでください。

【電池交換について】

・新品の電池を組込んでからの電池の寿命は、製品仕様による年数に準じます。
・お買い上げの時計に組込んだ電池はモニター用電池です。モニター用電池は、時計の性能・機能を確認するために工場出荷時に組込まれるものです。お買い上げ後、使用年数に満たず電池の寿命が切れることがあります。モニター用電池は本体価格には含まれておりませんので保証期間内でも電池交換は有償となります。あらかじめご了承ください。
＊電池が切れたまま長期間放置しますと、漏液などで故障の原因になります。お早めに電池交換をしてください。
＊交換する電池は、専用電池をご指定ください。
＊時計の電池交換は、専門の工具・技術を必要としますので、お買上げ店にお申し付けください。
＊ご自分で電池を交換される場合、電池の極性を間違えると発熱や破裂をすることがありますので十分ご注意ください。
＊取り出した電池は、幼児の手の届かないようにしてください。万一飲み込んだ場合、直ちに専門医にご相談ください。
＊取り出した電池は火中に投じないでください。破裂する危険があります。
＊電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。発熱・破裂の危険があります。

【クオーツ】

製品仕様
1. 水晶振動数 ・・・・・ 32,768Hz（Hz=1秒間の振動数）
2. 携帯精度 ・・・・・ 月差±１５秒～２０秒以内（常温）
3. 使用電池 ・・・・・ 酸化銀電池
4. 電池寿命 ・・・・・ 新しい電池組込後約２年

（時刻の合わせ方）

①リュウズを１段引き出すと秒針が止まります。秒針は１２時の位置に止めます。

②リュウズをまわして針を合わせます。

③時報と同時にリュウズを押し込みます。

◎３針デイトモデル
（時刻及び日付の合わせ方）

①リュウズを１段引き出します。（この時計のリュウズは２段に引けます。）

②リュウズをまわして前の日の日付にセットします。（リュウズ回転にて日付の修正ができます。）

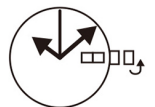
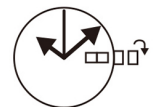
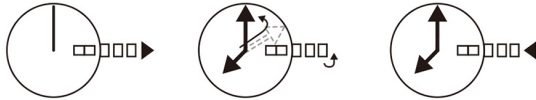
③秒針が０秒の位置にきたときに合わせて、リュウズをもう１段階引き出します。

④リュウズをまわして時刻を合わせます。日付が変わるときが午前０時ですからそれを確認して午前・午後を間違えないよう合わせて下さい。

⑤時報と同時にリュウズを押し込みます。
時計は動きはじめます。

＊正確に合わせるために分針を正しい時刻より数分進めてから逆にもどし正しい時刻に合わせて下さい。

◎３針デー・デイトモデル
（時刻及び日付、曜日の合わせ方）

①リュウズを１段引き出します。（この時計のリュウズは２段に引けます。）

②リュウズを反時計まわりにまわして前の日の日付にセットします。（リュウズ回転にて日付の修正ができます。）

③続いてリュウズを時計まわりにまわして前の日の曜日にセットします。（リュウズ回転にて曜日の修正ができます。）

④秒針が０秒の位置にきたときに合わせて、リュウズをもう一段階引き出します。

⑤リュウズをまわして時刻を合わせます。日付が変わるときが午前０時ですからそれを確認して午前・午後を間違えないよう合わせて下さい。

⑥時報と同時にリュウズを押し込みます。
時計は動きはじめます。

＊正確に合わせるために分針を正しい時刻より数分進めてから逆にもどし正しい時刻に合わせて下さい。

【バンド長さ調整方法】

バンド駒調整には専用の工具・技術を必要とする場合があり、誤った作業をするとケガをしたり、時計を傷つけたりするおそれがあります。バンド駒調整はお買上げ店にご依頼いただくか、ご自分で調整される際は十分注意をしてください。

バンド裏面にある矢印の方向へ向かって、工具を使いへアピンを押し出してください。

取り外したいコマを外しましたら逆の手順でピンを押し戻します。